

労働市場の概要（平成28年5月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成28年5月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.61倍となり、前月に比べて0.04ポイント上昇。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は2.0%増加し、有効求職者数(季節調整値)は0.4%減少した。また、新規求人数(季節調整値)は0.5%増加し、新規求職者数(季節調整値)も3.2%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、卸売・小売業(7.2%減)で減少したものの、建設業(15.7%増)、製造業(6.7%増)、運輸業・郵便業(22.9%増)、宿泊業・飲食サービス業(39.3%増)、医療・福祉(1.6%増)、サービス業(他に分類されないもの)(25.1%増)で増加したことから、全体では対前年同月比

8.4%増と9ヶ月連続で増加した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で1.7%増と6ヶ月ぶりに増加した。

有効求人倍率(季節調整値)は、23年10か月ぶりの1.6倍台となり、高水準で推移している。県内の雇用情勢は引き続き改善している。なお、生産の減少の雇用面への影響を注視する必要がある。

1 有効求人倍率(季節調整値)

5月の有効求人倍率は1.61倍となり、前月に比べて0.04ポイント上昇。

(1) 有効求人(パートを含む)

○ 5月の有効求人は48,646人で、対前年同月比(原数値比較)で5.3%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも2.0%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で9ヶ月連続の増加となった。

(2) 有効求職(パートを含む)

○ 5月の有効求職は32,330人で、対前年同月比(原数値比較)で4.9%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも0.4%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で40ヶ月連続の減少となった。

(3) 5月の正社員の有効求人倍率は1.04倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

5月の新規求人倍率は2.35倍となり、前月に比べ0.06ポイント低下。

(1) 新規求人(パートを含む)

○ 5月の新規求人は16,973人で、対前年同月比(原数値比較)で8.4%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも0.5%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で9ヶ月連続の増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業	15.7%の増加	(2ヶ月ぶりの増加)
製造業	6.7%の増加	(7ヶ月連続の増加)
運輸業・郵便業	22.9%の増加	(3ヶ月ぶりの増加)
卸売・小売業	7.2%の減少	(2ヶ月ぶりの減少)
宿泊業・飲食サービス業	39.3%の増加	(3ヶ月ぶりの増加)
医療・福祉	1.6%の増加	(2ヶ月ぶりの増加)
サービス業	25.1%の増加	(7ヶ月連続の増加)

(他に分類されないもの)

(2) 新規求職(パートを含む)

○ 5月の新規求職は8,141人で、対前年同月比(原数値比較)で1.7%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも3.2%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は6ヶ月ぶりの増加となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は574,774人で、対前年同月比1.6%の増加となり、77ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は6,571人で、対前年同月比4.4%の減少となり、受給率は1.1%であった。